

授業科目 栄養教育実習

【担当教員名】 笹川 トシ子	対象学年	4	対象学科	健康	
	開講時期	前期	必修選択	選択	
	単位数	2	時間数	60	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 教育実習（栄養教諭）は、小学校又は中学校における教育実地研修であり、教職課程の根幹をなす。教育実習の目的は、学校教育の現実と学校現場での教師の活動を体験的かつ総合的に認識すること、大学で学習した専門教科や教職に関する知識・理論を学校教育活動に主体的に適用させること、学生自らに教職に対する使命感や自己の教職に対する能力・適性について自覚することである。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 教育実習の目的、目標について述べるができる。 2. 各自の教育実習の目標や必要書類を作成する。 3. 実習校を事前訪問し、実習校の児童の食に関する課題について記述する。 4. 課題解決のための食に関する指導の案を作成し、資料を準備する。 5. 実習校の教師や児童の活動を注意深く観察し、実習日誌に記録する。 6. 栄養教諭（学級担任）の活動を補助的な立場で実際に行う。 7. 栄養教諭（学級担任）の指導の下で計画を立案し、主体的に給食の時間の指導を行う。 8. 栄養教諭（学級担任）の指導の下で、食に関する指導の授業の指導案を作成する。 9. 栄養教諭（学級担任）の指導の下で、食に関する指導の授業を行う。 10. 教育実習（栄養教諭）での学び自己評価を実習日誌にまとめる。 11. 教育実習（栄養教諭）での学び生活の様子・事前準備等について評価する。 12. 実習校の関係者に教育実習（栄養教諭）の礼状を出す。 13. 教育実習（栄養教諭）で使用した用具や資料等の整理をする。 14. 教育実習（栄養教諭）での学びを報告書にまとめる。 15. 報告会を開催し、教育実習（栄養教諭）の学びを報告する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	○オリエンテーション他（4月上旬） ○実習校での打ち合わせ（5月中旬：適宜） ○栄養教育実習（6月上旬：2週間） <実習の進め方と方法> 講話：指導者からテーマに沿って話を聞く 観察：問題意識を持って子どもや教師の活動を注意深く見る 参加：栄養教諭（学級担任）の活動を補助的な立場で実際に行う 実習：栄養教諭（学級担任）の指導の下で計画を立案し、主体的に実践する ※「参加」の段階は、「講話」によって原則を理解し、「観察」によって実態を知る。知ったことを踏まえて、「実習」に向けての力量を高める。 ○栄養教育実習の自己評価、まとめ（6月下旬） ○実習報告会（8月上旬：半日）				事前指導：学内 事前指導：学外 実習校 事後指導：学内 報告会：学内
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料	栄養教育実習要項および実習日誌				
【評価方法】 実習校の指導教員からの評価と実習レポート・報告書から評価する		【履修上の留意点】 実習計画は、実習指導者および教職担当教員の指導の下、準備を進める。 実習内容は、栄養教育実習要項に則って、実習校と相談し、各校の実情に合わせて調整し、計画する。			